



ジェネティックラボ病理エキスパートウェビナー

参加
無料

Zoom
配信

標本作製・免疫染色・鏡検の コツが知りたい!にお応えします

日時

2025.10.28 [火] 14:00~15:20 (予定終了時間)

演者

小野 彩 (ユーロフィンジェネティックラボ株式会社 学術営業部)

お申込みはこちらから!

■ お申込み方法(事前登録制)

当セミナーは事前登録制となります。
右記の URL または QR コードより
「事前参加登録」をお願いいたします。



<https://x.gd/MBnmm>

お申込み締切り: 2025年10月28日(火) 15:20(予定終了時間)まで

ジェネティックラボの分子病理解析トータルソリューションサービス



主な分子病理 受託サービス

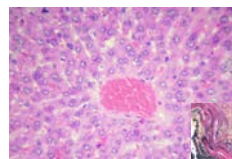
- ヒト、マウス、ラット等様々な動物種
- 脳、肺、皮膚等の様々な臓器
- 凍結・ホルマリン固定等の様々な組織標本

標本作製

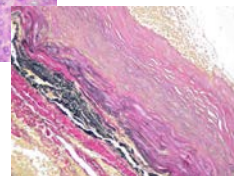
- ブロック作製 (FFPE)
- 未染標本作製 (FFPE・凍結)
- TMA・CBA作製



HE 染色／特殊染色



ラット肝臓

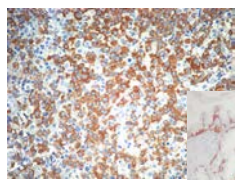


エラスチカ・
ワンギーソン染色
(血管)

この他にも様々な染色が可能

IHC 染色 (免疫組織化学染色)

- 移管試験や条件検討試験から実施可能

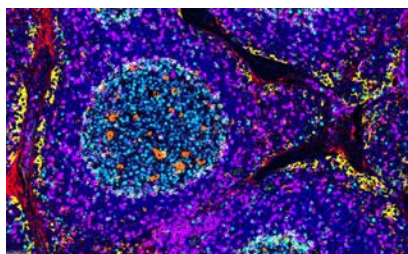


ALK (p80)
(悪性リンパ腫)

34βE12
(前立腺)

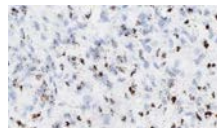
蛍光染色 / 蛍光多重免疫染色

- 国内唯一、単染色から最大8色まで可能



ISH (in situ ハイブリダイゼーション) -RNAscope, Basescope

- 遺伝子の発現量や変異比率などを局在と共に解析



病理医による鏡検

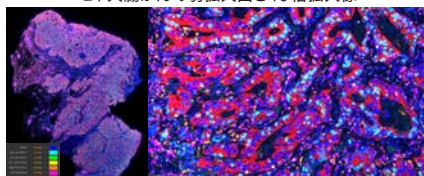
- 染色結果の評価やスコアリング
- 画像解析の妥当性確認



画像撮影

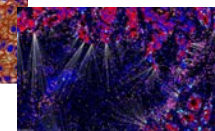
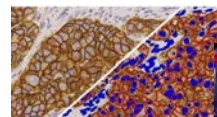
- 明視野・蛍光ともに Whole Slide Image の撮影可能
- 蛍光では、蛍光スペクトルを分離できるため、近い波長同士の染色でも識別が可能

ヒト大腸がんの弱拡大図と10倍拡大像



画像解析 (HALO)

- 腫瘍エリアと間質エリアを識別するAI機能搭載
- 腫瘍におけるターゲットタンパク質の挙動を解析



病理診断技術と分子生物学的解析を融合した当社ならではの「分子病理解析サービス」をご提供し、
お客様の課題を解決します。

蛍光多重免疫染色は、国内唯一の受託サービスです。

LC-SCRUM-Asia など、プロジェクト毎のフルサポートを行っています。

お気軽にお問い合わせください



【問い合わせ先】

ユーロフィンジェネティックラボ株式会社

〒060-0009 北海道札幌市中央区北9条西15丁目28-196

TEL: 011-644-7342 FAX: 011-624-7104

e-mail: GLab_sales@gsjp.eurofinsasia.com

ウェビナー申し込みはこちら

ジェネティックラボはこちら

